

令和元年度

事業報告

社会福祉法人 仁和会

府中さくらの杜

総 括

一昨年から特別支援学校の卒業生の受け入れという新たな目標を掲げスタートをいたしました。昨年度は市内特別支援学校の高等部3年生5名、2年生1名の実習生の受け入れを始め、施設見学等につきましても積極的に受け入れることが出来ました。

昨年度の利用者様の動きとしましては、4月に新たに1名の方が入所され34名でのスタートでした。退所の方は2月末日に2名あり、年度末時点で32名の方にご利用いただきました。

今後新しい利用者様の受け入れに伴い、利用者様の安心・安全を第一に考えるとともに、職員の知識、技術の向上を図るため、各研修等を実施してまいりました。

目 次

第 1 章	施設運営の実施状況	2
第 2 章	障害福祉サービス	3
第 3 章	健康管理	6
第 4 章	相談、苦情対応、虐待の防止	6
第 5 章	家族との連携	7
第 6 章	援護の実施者、協力機関との連携	7
第 7 章	職員体制	9
第 8 章	会議・研修等	9
第 9 章	災害対策・事故対応	10

※年齢、実績等のデータは、特記がない場合は令和2年3月31日現在で計上。

第 1 章 施設運営の実施状況

1. 利用実績

(1) 利用定員	30名
(2) 利用現員	31名
(3) 欠員数	0名
(4) 新規利用者数	1名
(5) 退所者数	2名
(6) 長期欠席者数	0名

※府中市 27名、稲城市 1名、多摩市 1名、国立市 1名、立川市 1名

2. 利用者の状況

(1) 年齢階層別

年齢層	男	女	計
18～19	0	1	1
20～29	4	8	12
30～39	2	4	6
40～49	0	2	2
50～59	1	1	2
60～69	4	1	5
70以上	1	2	3
計	12	19	31
平均年齢	47.0歳	38.6歳	41.8歳

(2) 障害支援(程度)区分

程度	男	女	計
区分 1	0	0	0
区分 2	0	2	2
区分 3	4	4	8
区分 4	5	8	13
区分 5	2	1	3
区分 6	1	4	5
計	12	19	31
平均	4.00	4.05	4.03

(3) 延べ利用日数

程 度	男	女	計
区 分 1	0	0	0
区 分 2	0	2 1 9	2 1 9
区 分 3	7 4 5	7 4 5	1, 4 9 0
区 分 4	8 9 1	1, 4 2 6	2, 3 1 7
区 分 5	4 2 1	2 1 0	6 3 1
区 分 6	2 3 2	9 2 7	1, 1 5 9
計	2, 2 8 9	3, 5 2 7	5, 8 1 6
平均支援区分	4.0 0	4.0 5	4.0 3

(4) 日常生活動作

内 容	支援・助言	一部介助	全部介助
食 事 支 援	9	8	0
排 泄 支 援	5	1 4	0
着 脱 衣 支 援	1 3	5	0
歩 行 支 援	4	4	1
コミュニケーション支援	6	1 1	4
車椅子利用者	1	1	2
おむつ使用者	2	2	3

第 2 章 障害福祉サービス

1、 個別支援計画

個別支援計画は、サービス等利用計画書の作成、モニタリング時期に合わせ、利用者、その家族の要望を聞き取る面談を実施し、目標の達成度や課題を見直して適切な支援ができるようにまたニーズの実現に向けて作成しました。

また可能な限り、サポートにんな相談支援専門員に同席してもらい、サービス等利用計画の総合的な援助の方針との齟齬がないように努めました。

2、日中活動支援

- 自主製品** ・エコハットブローチ、アニマルクリップ、ボンボンヘアゴム
シュシュ、ビーズアクセサリ、アクリルたわし、ティッシュケース
織物、一閑貼り、組みひも等
- 受託作業** ・いぶしの袋詰め、三色やすりの袋詰め
・ 公園清掃
- 創作活動** ・ 絵画、工作、紙すき、手芸など
- 運動活動** ・ 軽体操、ダンス、運動プログラム、散歩、周辺清掃
- レク活動** ・ 音楽、カラオケ、レクリエーション、DVD鑑賞、ドライブ
・ 外出活動等

3、活動による収入と支出

・ 収入

	30年度	元年度
すずかけ公園清掃	1,232,160	1,170,240
自主製品イベント販売	89,020	90,840
自主製品委託販売	97,335	124,785
自主製品施設内販売	66,730	30,620
受託（下請け）作業	88,840	70,550
イベント収入	191,755	46,740
合計	1,765,840	1,533,775

・ 支出

	30年度	元年度
自主製品原材料	80,744	58,565
販売手数料	10,815	13,865
利用者工賃延べ支給額	1,482,680	1,170,240
利用者工賃延べ支給人数	389	380

	～2,000円	～3,000円	～5,000円	5,000円～
年間平均工賃月額	7名	7名	17名	0名

4、日課

時間	内容
9:00~10:00	利用者の受け入れ
10:00~10:30	朝の準備 体操・歌・朝礼
10:30~11:45	午前の活動
11:45~12:20	昼食
12:20~13:00	歯みがき・昼休み
13:00~14:30	午後の活動
14:30~15:00	帰りの準備 夕礼・体操
15:00~16:00	降園準備・送迎

5、令和元年度 年間実施行事

	行事	日程	元年度担当者
4月	桜まつり	6(土)7(日)	施設長・渡邊
6月	総合健診	11(月)12(火)13(水) 15(金)19(火)20(水)	長谷川・加藤
8月	寿町納涼盆踊り 商工まつり 夏期特別期間	3(土)4(日) 9(金) 13(火)14(水)15(木)	施設長 施設長 藤谷
9月	にんな祭	7(土)	施設長・浅野・原
10月	福祉まつり(台風中止)	12(土)13(日)	高橋・原
12月	waiwai フェスティバル クリスマス会	7(土) 20(金)	浅野 高橋・原

第 3 章 健康管理

健康管理は下記のとおり実施しました。

1. 利用者の健康管理

(1) 入所時の確認

当施設利用開始に当たり、過去にかかった病気、既往症及び過去に接種した予防注射の確認、緊急時の連絡先など詳細な把握を行いました。

(2) 服薬の確認

年度初めに、服薬の状況を保護者様に確認し、服薬されている方の処方箋等を複写し、緊急時に備えました。

(3) 保健行事

①定期健診

毎月1回（不定期）に嘱託医による定例健康診断、健康相談を実施しました。

②総合健診

年に1回（6月）提携医療機関にて胸部レントゲン、心電図、採血、身長・体重測定、検尿を実施しました。

(4) 日々の視診について

日々の利用者様の体調の把握を行いました。

(5) 衛生習慣の確認

登園時、屋外活動より戻ったとき、手洗いとうがいをを行うよう促しました。

(6) 血圧測定

毎週一回実施し、平常値を把握。状況により嘱託医に相談し、保護者の方へ報告対応しました。

(7) 専門職指導

月1回理学療法士によるリハビリテーション指導を行いました。

月1回言語聴覚士による口腔指導を行いました。

3. 職員の健康管理

① 新規採用者の採用時健康診断および、年1回の定期健康診断を実施しました。

② 健康維持のため、適度な休息をとれる体制をとりました。

③ メンタルヘルスについては、ストレスチェックを全職員に実施し、早期に相談できるような体制を構築しました。

第 4 章 相談、苦情対応、虐待の防止

1. グッドパーソン

7月と1月に「法人グッドパーソン規程」に基づきグッドパーソンの方に来園していただき、施設の進捗状況を報告し、食堂にてみんなと一緒に昼食を食べていただきました。

昼食後に利用者様または職員に日々の悩みなど聞き取りを実施しました。

2. 苦情対応

苦情については「法人苦情対応規程」に基づき下記のとおり体制整備を行いました。

役 割	氏 名	連 絡 先
くじょうかいけつせきにしや 苦情解決責任者	まつした たみお しせつちよう 松下 民夫 (施設長)	042-358-1170
くじょううけつけたんとうしや 苦情受付担当者	わたなべ あきえ しゆにん 渡邊 章江 (主任) ふじや たく しえんいん 藤谷 卓 (支援員)	042-358-1170
だいさんしゃいいん 第三者委員 (グットパーソン)	いで まさとし さま 井出 政俊 様 たなか まちこ さま 田中 真知子 様	042-364-0637 042-360-1294

3. 虐待の防止

令和元年11月、法人全職員に「障害者虐待防止セルフチェックリスト」を実施しました。令和2年2月法人内研修として、一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 岸部知佐子先生の講師により「アンガーマネジメント研修その2」を法人職員・利用者 家族・他法人職員等へ実施しました。

第 5 章 家族との連携

1. 保護者会の実施状況

昨年度は、年2回実施し、情報を共有しました。(4/6,2/15)

2. その他

利用者およびご家族が日々の生活を安心して過ごせるように、ご家族と随時連絡帳などを通じて情報を共有して連携を図りました。また困り事などがある場合はその度相談に応じました。

第 6 章 援護の実施者、協力機関等との連携

1. 援護の実施者との連携

利用者の入所、退所に伴う障害福祉サービスの手続き等が適切に行えるよう連携し調整を実施しました。

2. グループホーム「せんげん」との連携

緊急時のバックアップ体制を整えているグループホーム「せんげん」との連携体制の確立や、日常的な情報交換を積極的に行いました。

3. サポートにんなどの連携

個別支援計画書作成およびモニタリング報告書の作成のための会議と面談のある時は、可能な限り、相談支援専門員に同席していただき、総合的な援助の方針との齟齬が無いように連携しました。

4. ボランティア、実習生の受入れを積極的に行いました。

(1) ボランティア

- ・毎週、1名のボランティアさんを受入れました。
- ・夏休みの期間には、府中市社会福祉協議会の主催している夏のボランティア体験において中学生・社会人のボランティアを受け入れました。(2名)

(2) 実習生

けやきの森学園高等部3年生5名、武蔵台学園高等部2年生1名の実習生を受け入れました。

5. 見学者の受入れ状況

- ・武蔵台学園やけやきの森学園など特別支援学校の生徒の見学を受入れました。
(6/20 武蔵台学園高等部1年 生徒14名・教員9名 7/26 けやきの森学園小
中学部保護者 その他個人での見学3名)

6. 地元町内会との連携

- ・寿町 納涼盆踊り大会参加 (7/27~28)
- ・寿町 自治会年末夜警参加 (12/17)

7. 府中市社会福祉協議会との連携

- ・わがまち支えあい協議会への参加
- ・赤い羽根共同募金参加
- ・社会貢献ボランティア参加(府中第二小車椅子操作他指導2名)

第 7 章 職員体制

1. 採用

- ・力丸 俊平（常勤・生活支援員） 4月 1日付
- ・宮下 実佳子（非常勤・調理員） 4月 1日付
- ・田畑 久美子（非常勤・調理員） 12月 1日付

2. 異動

- ・前島 勇一（常勤・生活支援員） 2月 1日付
（府中はるみ福祉園施設長から異動）
- ・田中 靖二（常勤・生活支援員） 3月 1日付
（せんげん常勤・生活支援員から異動）

3. 退職

- ・力丸 俊平（常勤・生活支援員） 6月30日付
- ・内海 佐知子（非常勤・調理員） 12月15日付

第 8 章 会議・研修等

府中さくらの社の日常の運営、利用者援助、支援に必要な会議および研修等を、下記のとおり実施いたします。

1. 会議

- (1) 職員会議 12回(毎月第3火曜日)
- (2) 保護者会 年2回(4月、2月)
- (3) 管理職会議 毎月第2、最終木曜日等
- (4) 主任会議 12回(毎月第3水曜日等)
- (5) 安全衛生委員会 12回(毎月第3水曜日等)
- (6) 支援員会議 12回(毎月第2火曜日等)

2. 研修

(1) 法人内研修

- ・ 6/15 仁和会の今後の方向性について 内部講師
- ・ 11/16 ケースカンファレンス（各施設の事例検討）
- ・ 1/18 東京都虐待防止・権利擁護伝達研修 内部講師
- ・ 2/15 虐待防止研修 アンガーマネジメント研修その2
（講師 日本アンガーマネジメント協会 岸部知佐子先生）

(2) 外部研修

- ・ 東京都社会福祉協議会初任者研修 1名
- ・ 虐待防止・権利擁護研修従事者コース 1名

- ・ 強度行動障害支援者養成研修（実践研修） 1名
- ・ てんかん基礎講座 2名
- ・ 衛生推進者資格取得研修 1名
- ・ 食品衛生責任者資格取得研修 1名

(3) 文書研修

法人内委員会等の議事録、関係機関からの通達、冊子等の情報を回覧し、各自資質を向上させることに努めました。

(4) 実地研修

上記の机上の研修のほか、実地の場面での教育、研修（OJT＝オンザジョブトレーニング）を実施しました。

第 9 章 災害対策・事故対応

利用者の生命、身体および財産を保護するため、下記のとおり対策、訓練及び対応を実施しました。

1. 防火設備等の点検実施 年2回

2. 避難訓練等

以下のとおり防災訓練を実施しました。

	区 分	内 容
5月	自主防災訓練 5/10	業務都合により未実施。
7月	自主防災訓練 7/10	熱中症予防の講話。地震に対する避難。
9月	合同防災訓練 9/19	市職員による防災対策全般の講話
11月	自主防災訓練 11/11	インフルエンザ予防の講話。火災の避難。
1月	自主防災訓練 1/22	歯磨きの講話。AEDの使用方法。
3月	総合防災訓練 3/27	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

3、その他

3月に外出活動中に職員の利用者様に対する不適切支援による外傷事故がありました。